

令和3年度第2回 名張市地域公共交通連携協議会 議事概要

日時 令和3年7月16日(金)

午後2時00分より

場所 名張市防災センター防災研修室1, 2

出席者:(敬称略)

(1) 委員

古谷 久人 (薦原コミュニティバス運営委員会 会長)
深山 桂右 (深山運送有限会社名張エフバス営業所 所長)
福本 房生 (ほっとバス錦運営協議会 会長)
前川 尚三 (緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長)
茅野 眞司 (美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長)
杉本 公也 (国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会 会長)
平岡 祐一 (三重交通株式会社伊賀営業所 所長)
川瀬 和也 (株式会社メイハン 取締役所長)
谷本 浩司 (名張市都市整備部 部長)

(2) オブザーバー

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 教授)
鈴木 博行 (中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官)
滝川 晋 (ほっとバス錦運営協議会)
福田 富彦 (薦原コミュニティバス運営委員会)
島田 光夫 (美旗地域コミュニティバス運営審議会)
藪井 喜巳 (国津地区コミュニティバスあららぎ号運行協議会)
作田 久 (三重交通株式会社伊賀営業所)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

(1) 役員を選任について

事務局 名張市地域公共交通連携協議会の規約をご覧いただきたいと思います。本協議会の委員といたしましては、本規約の4条及び別表にありますとおり、地域の運行協議会を代表する者等で構成されております。任期は規約第8条の規定により2年となっております。本年6月10日から新たな任期となっておりますので、今期の役員について選出する必要があります。役員は規約第6条の規定により会長1名、副会長2名を委員の互選により選出となっております。ただ今から選出をさせていただきますが、選出の方法については委員の皆様にお諮りをしたいと思います。役員について事務局からの推薦とさせていただきますようお願いいたします。

か。それでは、事務局の提案として、会長に古谷委員、副会長に深山委員、谷本委員を推薦させていただきます。いかがでしょうか。

一 同 (異議なし)

会 長 古谷 久人委員

副会長 深山 桂右委員

副会長 谷本 浩司委員

(会長挨拶)

(2) 令和2年度コミュニティバスの事業評価について

【ナッキー号】

事務局 ナッキー号の令和2年度の利用者数は51179人で、昨年度より7628人の減少となりました。前年度比は約85%で、コミュニティバスの中ではあららぎ号に次いで減少幅が少ないです。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、令和2年の4月末から一時的に車両を大型化し、中型車両で運行しています。令和3年度からは紫色の車両の老朽化のため、運行車両を正式に中型車両に変更することとしました。他にも運行をいただいている三重交通により、各種コロナの対策を徹底していただいております、それについても含めバスの安全な利用について市ホームページ上でご案内させていただきました。利用促進について、コミバス全体のものも含まれますが、まず、バスの利用案内を一部の地域に対して回覧いたしました。鴻之台・希央台に対してはほっとバス錦、三重交通と合わせて、桔梗が丘地域に対してはぎゅーとら蔵持店の開店に合わせみどり号とともに時刻表等の回覧を行いました。また、市内6つの主要施設に向かう全てのバスを一覧にした「行き先別時刻表」を作成し、各主要施設に設置しており、時刻改正等があれば順次更新しております。また、前回の会議でもお示しさせていただいた市内コミュニティバス路線図を市内主要乗継拠点に掲示し、ホームページ上で公開しました。財政面では事業者4社より協賛をいただき、事業費に充当いたしました。協賛事業者さんも年々少なくなってきておりますので、協賛のメニュー等についても見直しが必要かなと思います。総合自己評価といたしましては、利用者数は運行開始以来最低の数値となり、路線バスや他のコミュニティバスに比して減少幅は少ないものの、外出自粛の影響を大きく受けています。今後も市街地循環バスとしての役割を果たすため、感染拡大防止対策を徹底するとともに、利用促進や利便性の向上等、可能なところから改善を進めていきたいと思っております。

【あららぎ号】

事務局 2年度の利用者数は1977人で昨年度に比べ28人の増加となりました。昨年度は大規模な見直しを行い、路線延長と新規停留所の設置、フリー乗降区間の設置、一部便の予約運行、運行時刻の見直しを行い、令和3年4月から新ダイヤで運行しております。地域からの要望・利用見込みや利用実態を把握し、より多くの需要を拾えるように市と運行協議会、運転手さんも含め検討を重ねました。利用促進に関しては4月1日の改正に合わせ、国津地区全戸に

対して改正時刻表の案内を配付しました。財政面に関しては、運行便数の見直し、予約便を設けることなどにより、路線を延長しても総運行距離が増えず燃料費を抑制できるように工夫しました。総合自己評価として、利用者数は微増しているものの、利用者が固定化しています。今回の路線の延長と新規停留所の要望がある中、効率的な運行と利便性の向上、新規利用者の獲得のため見直しを行いました。今年度の利用の動向を注視しつつ、実態に即した運行となるよう今後も検討していきたいと思えます。

【ほっとバス錦】

委員 令和2年度の利用者数は3317名です。運賃収入は令和元年度は100万円ほど確保していましたが、70万円程度で3割減でございます。サービス水準につきまして、2年度は要望が多かったビバホーム一部乗り入れと、フリー乗降区間の追加を期初よりスタートさせる等、利便性の向上に取り組みました。ビバホーム経由での増収を期待しましたが、それ以上に新型コロナウイルス感染防止による外出自制や各種イベントの自粛や延期等でのマイナス幅の方が期中を通じて大きく、対応策も協議しましたが妙案を出せる状況下ではありませんでした。期初よりの乗車人員の減少が期末まで続き、運賃収入が70万円と予期せぬまでに落ち込み、大幅な減収により多額の赤字補填をせざるを得ないことになりました。支出の大半が運行委託料であり、その他経費での削減余地はなく、抜本的な対策を余儀なくされる結果となりました。コロナ後も厳しい運営状況が続くものと想定したうえで、今後とも持続可能な運営の在り方について令和3年度は協議を重ねたいと思えます。大変なことが色々ありましたが、無理せずに精いっぱい努力で収支が合ってくるような方法を模索しながら今後につなげたいと思えます。

【コモコモ号】

オザパー 令和2年度につきましては利用者数が2228人で前年度から800名ほど減少しています。地域での取り組みで、検討しているのが、補助金の増額は期待できませんので、今ある中で運賃を増やさずに人を増やすことができないかということで、行きと帰りの運行を変更することを検討しています。財政面では、例年ですと沿線の企業から協賛金を頂戴しておりましたが、お願いを躊躇し2年度は協賛金依頼を行いませんでした。つきましては不足分はすべて地域づくり委員会からの資金援助になっています。その他として、薦小3年生の社会科の授業に協力し乗車体験を行いました。今年は2、3年生が乗車体験をしています。総合的な自己評価としては、コロナ禍と、桔梗が丘駅前の商業施設の撤退による利用者の減少に歯止めがかかりません。運行経費の増加を抑えて利用者を増やそうと増便と減便を組み合わせた対策を検討中で、これで利用者が必ず増加するかどうかは不透明でございます。しかし、薦原は山間地域でこれが唯一の公共交通機関なので、継続運行を前提に活動していきます。

【みどり号】

委員 みどり号もお客さんは減っています。利用人数が4297人で運賃収入は約45万3千円でいずれも減少しています。サービス水準に関することは、地図付き、乗り継ぎ案内時刻表を全戸配布しています。各バス停に季節の花を生けた鉢植えを植えています。ぎゅーとらとセイムス店長と密接に連携しました。その後はぎゅーとらは移転しセイムスはなくなりました。ぎゅーとら新店舗開店に伴い、「ぎゅーとら前」のバス停を新設し、ルート変更、時刻変更を

行い、利便性を高めました。しかし、ぎゅーとらが近くに来たのでバスに乗らず歩いていくので客は増えません。雨の日などは乗っていますが。また、桔梗が丘駅周辺の店がなくなったので桔梗が丘から乗る方もいます。利用促進に関して、偶数月に「みどり号通信」を発行して全戸配布し、住民に現状報告をしています。読者は住民の2割程度だと思います。みどり号の委員の方々に、啓発活動をお願いしています。年間を通じて乗降調査をし、利用者の意見をきいたりしています。財政面では、緑が丘自治会にお願いして、補助金を28万円いただいています。また、地方創生臨時交付金が25万円交付されました。赤字がでないように、極力経費を節減して、ボランティアとしての持ち出しを増やしました。今期は経常利益が約160万円となりました。バス停新設及び標識増設費用として、34万千円の出費がありました。5年の減価償却です。ぎゅーとら、ココカラファイン開店でも買い物客の増加は鈍いです。コロナが終わっても客は増えないと思います。便を増やしたいですが財政面から厳しい状況です。自己評価点は100点とします。10年以上無給のボランティアでしています。コミュニティバスは限界に来ています。アイデアを出してバスの乗り方教室をしていますが、子供は喜んで乗っていますが親が乗るわけではありません。去年はコロナでできませんでした。今年は落ち着いたらできればするつもりです。コメリができればバス停を作ろうかなと、できれば中に入れてもらおうかなと考えています。財政的には問題ないかと思えます。

【はたっこ号】

オブザーバー 美旗は平成25年から年々業績はよかったのですが、令和2年度はコロナ禍の影響で利用者数は6028人で前年度から2880名の減少になりました。ちなみに運賃収入は令和元年度は136万2千円あったのが84万9千円で大幅な減収となり、収支率も下がりました。サービス水準に関することですが、バス停に屋根の設置を計画していますが、利用料金の減少が大きく一時計画を停止しておりますが、継続して取り組んでいきたいと思えます。オークワ西原店の移転に伴い敷地内に乗り入れを開始しています。また経過を見て報告させていただきたいと思えます。利用促進に関して、地域のサークル等イベント開催時にコミュニティバスのチラシを配ったりしていますが、地域イベントがコロナ禍でほとんど開催されませんでした。おそらく今年度も難しいと思えますが、継続して進めていきたいと思えます。財政面について、現在は繰越金が多くあり地域協賛企業からの協賛金は予算計上していません。その他として、はたっこ号は午前中に行きの便、午後に帰りの便となっておりますが、帰りの数が少ない、ナッキー号との連結が悪いとの意見があり、ルート及び運行日数の変更等を今後検討していきたいと思えます。総合自己評価として、利用者は前年度から2880名減少と非常に厳しい状況で、これといった対策も現在はなく、コロナ禍の影響が大きく厳しい状況です。市都市計画室にも相談し、今年度の利用状況を見て、運行日数を検討していく予定です。

会長 一通りご発表いただきましたが、それぞれにご意見等をいただきたいと思えます。それでは、まずナッキー号に対する意見等をお願いいたします。ナッキー号は、バスを中型に変えたということですが、これについての利用状況などございましたらお願いします。

事務局 ナッキー号は正式には4月からとなっていました、実質的にはコロナの感染拡大防止の観点から三重交通のご協力をいただきながら昨年の5月ごろからずっと中型で運行させていただいています。ナッキー号はコロナで利用者が減少するまでは小型車両で多くの方が乗っていて密だったのですが、コロナ禍で利用者が減少しているというところと、大型化したことで多くの方が着座できるようになったと思います。ただ、利用者からの直接のご意見というのは乗込み調査等も実施できていませんのでいただいているのですが、間接的には大きくなってよかったという声もありました。引き続き今後は中型車両で運行しますので、利用者が元に戻ってもこれまで以上の方が着座できるかと思っています。

会 長 はい。皆さんから何かありますか。

委 員 ナッキー号は前専用車両だったのが今は三重交通と同じになっていますがあれはまた専用車両に変えるということは考えていますか。

事務局 おっしゃる通り以前は専用車両で運行しておりました。運行当初からずっと同じ車両をつかってきたので、老朽化が進んで乗り心地が悪くなってきている状況の中で、車両更新の課題もありました。そういった中で、大型化する際に専用車両も考えたのですが、費用面も考慮し三重交通の所有車両の中でナッキー号に回すというかたちで、今後についても計画としては専用車両にするということは考えておりません。

会 長 では、次にあららぎ号についてございますか。あららぎ号は一部の便で予約運行されているということで、これはどういうやり方でされていますか。

事務局 あららぎ号はこの4月に見直しをさせていただきました。これまでは半期ごとに1日8～9便で運行していました。新たな地域への乗り入れ要望があり、そうなる路線が延長しますので今までの運行時間では対応が難しく、単に延長すると距離が伸びますので費用面でも難しかったのですが、利用実態を確認し利用者数が少ない便を予約があった時だけ運行するというかたちで切り替えました。予約があった時だけ運行するかたちですが、基本的には路線運行になりますので、決められた路線を決められた時間で運行します。相対的な運行便数を一部減便させていただいて、通年8便で運行しています。

会 長 予約が無ければ運行しない便になるということですか。

事務局 1日のうち2便に対してそのような対応をさせていただいております。実際の稼働状況は50%ほどになっています。

会 長 受付の手間があると思いますが、それはどうされていますか。

事務局 あららぎ号は自家用有償旅客運送で、事業主体は市ですが運行を担っていただいているのがあららぎ号の運行協議会ということで地域を主体として運行しております。そういった関係から予約の受付については国津ふるさと館の事務所の方でしています。あららぎ号の事務所も同じ場所になるので、その場で運転手さんにお知らせいただいております。定期的に乗ることが決まっている人はスケジュールをあらかじめご連絡をいただいているといった運用をさせていただいております。

会 長 皆さんから何かありますか。

オブザーバー あららぎ号は昨年から意見を言わせていただいておりますが、利用者数が1便当たり0.9人ということでやはり定時定路線のバスである必要はないかなと思います。ただ、地元の方々

の要望があって運行されていると思うので、そのあたりは協議していただければと思います。おそらく今の路線を使ったバスでない方が利便性が上がると思いますので、ご検討いただければと思います。路線が複雑で少し整理をされて運行していますがそれでもなおかつ利用者数が少ないのであれば検討する余地はあるかと思います。

事務局 今回見直しをするにあたって地域ともお話をさせていただきながら、これまでの路線を基本にしつつ、運行の仕方の見直しをしました。区域運行で路線を定めずに走る方法もありましたが、市全体の施策との兼ね合いもありますので、今後検討させていただきたいと思います。

委員 あららぎ号を運行しているのは過疎地にあたりますか。過疎地なら道路運送法第78条が適用されるので白ナンバーでの運行になりますよね。私は京丹後市を訪問して調べてきたのですが、ライドシェア運行をしているところがあります。バスでなく普通の軽自動車でその都度呼び出して運行するといったものがあるので、そっちの方が利便性がいいと思います。それは運行協議会でやれば可能な話だと思います。平均0.9人なので軽自動車でも乗れると思います。Uberのソフトを入れてしていますが、私が訪れた時は黒字だとおっしゃっていましたので、検討された方がいいと思います。過疎地であれば法に抵触しないので。資料も何回か渡していますので、わからないことがあれば私が説明します。

事務局 今後検討の際に参考にさせていただきます。

会長 続きましてほっとバス錦についてご質問等お願いします。市役所等まで行っており、ナッキー号と並行している区間があると思います。ほっとバス錦を地域以外の方が利用されることはありますか。

委員 都市計画室の方で、希中央、鴻之台からビバホームへ来ていただくためにパンフレットを配っていただきましたが、その結果も調査をしていないのでわかりません。基本的にバスを移用される方の絶対数が減ってきており、新規利用者が増えていかない傾向があります。今までは乗りあって市内の施設に行ったり、地域のイベントがありましたが、それも中止しており、厳しい状況です。増収につながる企画を前向きに考えなくてはいけないですが、持続可能な運行をするにはどうすればいいかということも含め、見直しをしていきたいと思います。

会長 いずれにしても必要なバスだと思うので、無理のない運行をしていけばと思います。

委員 やはりコロナが収まっても100%元に戻るかというと難しいと思うので、より厳しい状況になると思います。

会長 それでは、次にコモコモ号についてのご意見等お願いします。

委員 曜日によってコースを変えているので、毎日乗れない場合もあると思いますが、それは利用者さんへの周知もしていただいていると思いますが、利用者さんが間違っただけで待っているなどはないですか。

会長 それはあるかと思いますが、便数が少ないので不便を感じている人はいると思います。コモコモ号の場合は当初からの方針として、無理をせず継続することを第一に考え、その面で不便であっても地域の中に公共交通があるというつながりを、薦原地域の場合はそれぞれの地域がばらけていますので、孤立している状況があり、それをコミュニティバスでつながっているという意識をもつていただく面もありますので、不便を承知の上で行っています。

委員 葛尾や鶴山の方は頭に入っていると思いますが、運行していない曜日にバス停で待っている

ということはないですか。

会 長 それはいいですね。最初は1本の路線で、利用の状況を見て2路線に変えました。便を増やしてほしいというのはありますが、分けたことで待っているのに来ないということはありません。他にありますか。

会 長 では、続きましてみどり号についてお願いします。みどり号は自治会を中心に運行されていて、緑が丘団地内を中心に運行されていて、いきいきなどができて延伸されましたが、コースの近辺で蔵持地域の中を走るなどは考えてこられたと思いますが、ルート延長をして蔵持地域の中も走って蔵持のまちづくり委員会にも参加してもらって経費の面で少しでも得られれば楽になるのかなと思いました。その辺の経緯があると思いますが。

委 員 蔵持の公民館なども行きたいですが道が狭く走れません。赤坂夏秋橋線が開通すればルート変更をしたいですが、今の状況では難しいです。道路がいつできるかというのがありますが、開通すれば大幅にルート変更したいと思います。あれはいつ頃になるのか名張市の方でわかりますか。

委 員 赤坂夏秋橋線の工事がなかなか進んでいないというご質問をいただきましたので、私の方からお答えします。難航しておりました地権者の方とは交渉により了承いただくことができましたので、今年度含め集中的に工事を進めていこうと考えております。ぎゅーとらができたり、コメリが開店準備をされている段階の中で、1つの目標として、現時点で令和5年中に暫定供用で何とか片側だけでも仕上げていけたらということで、予算を集中して道路整備をしていきたいと思います。

委 員 ブルーシートの横を通すということですか。

委 員 仕上げてはいくつもりですが、何とか1車線でも供用できるような作りができるなら、通しながらも工事を進めていきたいと思います。今の時点ですので、伸びる可能性もありますが、令和5年中に暫定供用をしたいと思っています。

委 員 令和5年中に1車線はできそうということですか。

委 員 はい。それを目標に今取り組んでいます。

委 員 ありがとうございます。あれができれば非常に助かります。

委 員 広報活動の中で通信というかたちで乗っていただけるように発行されていると思いますが、住民の2割程度しか読んでいないというのは、あまり読んでおられないということですか。

委 員 なんで2割かわかるかということですか。年に6回全戸配布しています。年に1回アンケートを実施していますが、返ってくるのが2割以下なので、それくらいしか読んでいないと思います。要はほとんど関心がない。この前逆回りのために停留所を道の反対を増やすことになった時、住んでいる方に許可をいただきに行きましたが、そんなところに作ってもらったら困ると言われます。日に2回停まるだけというと、たったの2回かと言われます。そんなこともわかっていない人が8割いるということです。住民にどうやって関心を持ってもらうかが今の悩みです。

会 長 切実にコミュニティバスが必要だと思っている方が、2割無いということでもありますよね。

委 員 皆さん地元のバスだと思って設立当初は役員の方も区長さんも非常に熱心でした。だんだん時が経っていくと、無理もないと思いますが関心が薄くなっていき、何もしなくても運行で

きるようなかたちにすればいいなどの意見の方もいます。全体的な風潮だと思いますが、いかに関心を持ってもらうかと考えていますが、何かいい案があれば教えていただきたいです。ファンクラブ作って1人千円寄付してもらったり年に1回乗ってもらうなど考えましたが、そんなことをしなくても持続可能な方法で運行したらいいという意見も出てきます。我々も想いはあるのですがそれが現実にできていない感じがあります。

会 長 他にありますか。それでははたっこ号についてのご意見ご質問をお願いします。ありませんか。では、中平先生、コミバス全体お通しての意見などいただければと思います。

オガザバー 新型コロナウイルスの影響で利用者が減っていると思いますが、その原因が公共交通は感染リスクがあるから利用を避けているのか、そうでないのかを把握する必要があると思います。前者の場合、それは現時点では間違いで、公共交通に乗って感染したという例は今まで聞かないので、もし身近な人に伝える機会があれば訂正していただければと思います。

会 長 ありがとうございます。それでは、3番目の議事に移りたいと思います。

(3) 障害者利用時の本人確認について

(事務局より資料に基づき説明)

会 長 ご意見ご質問等ございますか。

オガザバー これは、障害者の本人確認をアプリに切り替えようというものですか。

事務局 説明不足で申し訳ございません。こちらはあくまでも新たな選択肢として実施するもので、以前の障害者手帳が使えなくなるようなものではありません。

会 長 運行している事業者、深山運送、メイハンとしてはいかがですか。

委 員 障害者の方の利用は顔なじみの方が多いです。このアプリを使用することで画面の大きさや角度、明るさ等が問題ないか少し心配です。

会 長 先に実施している三重交通ではそういったトラブル等がありますか。

委 員 今のところそういったトラブルはありません。

オガザバー 利用している障害者の中にはスマホを持っていない人もいます。そういった人にこれを使えというのはおかしいのではないのでしょうか。

会 長 これだけになるというのではなく、以前の手帳も本人確認として使えるということです。

委 員 資料にもありますが、これはマイナンバーカードの普及を目的としたもので、手帳そのものが変わるというわけではありません。

オガザバー 8月1日からの実施とありますが、周知期間もないので性急ではないのでしょうか。

事務局 こちらは事業者として受け手の認識の問題になりますので、特に周知等はしないと考えております。

オガザバー バス車内でも掲示して周知すべきではないのでしょうか。

委 員 今後これがバス外でも使えるようになるのではないのでしょうか。それなら周知していくべきだと思います。

事務局 このアプリの周知に関しては障害者施策になってくるかと思いますので、そちらの部署にも確認させていただきます。

委 員 これによって我々が何かしなければいけないことはありますか。

事務局 今のところ特に、ご承知いただくということくらいです。

会 長 他にございますか。それでは、令和3年度第1回名張市地域公共交通連携協議会を終了とします。ありがとうございました。